情報連携についての校内研修資料①

1　小学校と中学校のちがい（アンケートより）

小学校の先生が伝えたいこと

その児童は、どんな子か。
どのように成長してきたか。

個人の発達や背景、指導過程を重視

↔ 当たり前の違うの

中学校の先生が受け取りたいこと

その生徒には、今、
どんな力がついているか。

客観的な事実を重視

2 校内の情報連携

①　反省点、課題

旧担任　情報を伝える

・これからの支援に必要な情報を伝えていただろうか？
・自分の考えや思いを伝えていないだろうか？

→

新しい担任　情報を受け取る

ポイント　問題行動の発生
新しい指導方針
変わっていく子ども

・情報が「先入観」に変わっていないだろうか？
・これからの支援に必要な情報を集める努力をしただろうか？

②　これからの支援につなげる情報連携の在り方

今の担任

たくさんの情報
学力、家庭、持病、性格…

・子どもの姿を客観的に表現する
・次の担任のニーズに対応する

↔ **次の支援に必要な情報交換**

これからの支援へ

次の担任

問題行動の発生
新しい指導方針
不登校、交友関係、学力向上…

・子どもをイメージする
・足りない情報を集める

今までの理解だけでは足りない！

3　さあ、やってみましょう！「**児童理解に関する研修**」

①　担任　：クラスの中で、指導上配慮するべき児童を選ぶ。　5　名程度

なぜ、その子を選んだのですか。
選んだ視点を考えてみましょう。

※ 担任外の先生は、ブロックの先生の手助けをして下さい。（欠席日数の記入など）

②　担任　：その児童の姿を客観的に「**申し送りカード**」(表)　に記入。　5　名程度
・欠席日数等　　・指導の工夫、配慮等

その子を客観的に表現してみて、どう感じましたか。
新たな発見はありましたか。

③　ブロックで交換して見あいましょう。

担任の先生に用意してもらいたいもの

指導要録（1年からの欠席が分かるもの）
出席簿（今年度の、月ごとの欠席、遅刻、早退　が分かるもの）　　など

申し送りカード(校内研修版)　　人数分

情報連携についての校内研修資料②

１　あなたのクラスで特に配慮するべき児童を５人まで選び、「**申し送りカード**校内研修版」(表)に記入して下さい。氏名らんにはＡＢＣＤＥも記入。

２　その児童を選んだ理由や視点を、以下にかんたんに記入して下さい。

指導上、配慮するべき児童　　選んだ理由・視点

年　　組

A 男・女	
B 男・女	
C 男・女	
D 男・女	
E 男・女	

３　カードに記入して感じたこと、ブロックの先生方からの意見などをお書き下さい。